
付録A. トラブルシューティング

プリンターの使用中に異常が起きたときの対処方法を説明します。プリンターが動かなくなったり、正常に印刷しなくなったりしたときは、まず次のようにしてください。

1. プリンターの電源を切ります。そのまま約 10 秒待ち、電源を入れ直します。これで問題が起きなくなることがあります。
2. プリンター構成ページを印刷します。印刷方法は『プリンター構成ページを印刷する』(40 ページ)を参照してください。プリンター構成ページが印刷できるかどうかによって、問題のおおまかな切り分けができます。
 - プリンター構成ページが印刷できないときは、通常、プリンター本体に問題の原因があります。
 - プリンター構成ページが印刷できるときは、通常、次のどこかに問題の原因があります。
 - プリンターへの接続（ケーブルなど）
 - ネットワーク
 - プリンター・ドライバーやアプリケーションの設定

次の順に該当する項目を探し、対策を実行してください。

1. 電源投入時の異常 ⇒ 『電源投入時の異常』(300 ページ)
2. 操作パネルの異常 ⇒ 『操作パネルの異常』(301 ページ)
3. メッセージが液晶表示部に表示されたとき ⇒ 『付録C. 液晶表示部のメッセージ』(345 ページ)
4. 用紙送りの異常 ⇒ 『用紙送りの異常』(303 ページ)
5. 印字品質がよくないとき ⇒ 『付録B. 印字品質が良くないとき』(335 ページ)
6. それ以外の印字の異常 ⇒ 『印字に関する異常』(315 ページ)

プリンター・ドライバーをお使いのときは、ドライバーに付属する Readme ファイル、ヘルプ画面、ドキュメント・ファイルも参照してください。

以上の手順でも異常が解決できないときは、お買い上げの販売店または貴社担当の営業担当員にご連絡ください。IBM コール・センター (電話: 0120-03-5555) もご利用になれます。

異常を連絡するときは『問題報告時にお知らせいただきたい情報』(292 ページ)を参照してください。

問題報告時にお知らせいただきたい情報

問題を報告するときは、次の情報をお知らせください。

わからない部分は省略してかまいませんが、必要な情報が不足していると問題解決に時間がかかることがあります。

1. プリンター構成ページ

プリンター構成ページがあると、問題の解決が早まります。

プリンター構成ページの印刷方法は『プリンター構成ページを印刷する』(40 ページ)を参照してください。

プリンター構成ページを印刷できないとき(セットアップ時の問題など)は、次の情報をお知らせください。

a. マシン・タイプ

InfoPrint 40 (4332-006) とお伝えください。

b. プリンターの製造番号

製造番号を記載した情報プレートが、プリンター本体の中にあります。トナー・カートリッジのカバーを開けてください。トナー・カートリッジの下に、製造番号を記載した情報プレートが見えます。

c. 装着しているオプションの種類

次のどれを装着しているかお知らせください。

- 両面印刷ユニット
- 2500 枚給紙ユニット (トレイ 3、4、5)
- フィニッシャー (2000 枚後処理オプション)
- フェースアップ・トレイ
- 封筒トレイ
- 増設メモリー (容量もお知らせください)
- フラッシュ・メモリー (容量もお知らせください)
- ハード・ディスク
- PAGES & ESC/P オプション
- IBM IPDS オプション

- トークンリング用ネットワーク・カード
 - イーサネット用ネットワーク・カード
 - IBM COAX SCS インターフェース
 - IBM TWINAX SCS インターフェース
- d. 操作パネルの「マシジョウホウメニュー」の「エラー・ログ」に表示される情報
- e. ネットワーク・カードをお使いのときは、カードの設定情報
2. お使いのコンピューターに関する情報
- a. パーソナル・コンピューターまたはワークステーションをお使いのとき
- 1) 機種名とメーカー名
たとえば「ThinkPad」だけでなく「ThinkPad 760XL」のように詳しくお知らせください。
 - 2) システム BIOS の製造元、バージョン、日付
 - 3) 搭載メモリー容量
 - 4) 搭載ハードディスクの容量と空き容量
 - オペレーティング・システムがインストールされているドライブの容量と空き容量
 - スプール・データを保管するドライブの容量と空き容量
 - 5) オペレーティング・システムの名前とバージョン
たとえば、次のどれをお使いかをお知らせください（これは例です）。
 - Windows 3.1 (IBM 版)
 - Windows 3.1 (Microsoft 版)
 - Windows 95
 - Windows 98
 - Windows NT 3.51 Server
 - Windows NT 3.51 Workstation
 - Windows NT 4.0 Server
 - Windows NT 4.0 Workstation
 - OS/2 バージョン 2.11
 - OS/2 Warp 3
 - OS/2 Warp 4
 - IBM DOS/V バージョン X

- MS-DOS/V バージョン X
 - 日本語 DOSバージョン X
- 6) オペレーティング・システムに適用されている修正プログラムのレベル
- たとえば次のような情報です。
- Windows 3.1 (IBM 版)なら PTF のレベル
 - Windows 95、Windows 98 なら Service Pack と OSR のレベル (MS-DOS プロンプトで「qfcheck」を実行するとわかります)
 - Windows NT なら Service Pack のレベル (コマンドプロンプトで「winver」を実行するとわかります)
 - OS/2 なら Fix Pack のレベル
- 7) お使いのアプリケーションの情報 (特定のアプリケーションからの印刷時に問題が起きるとき)
- アプリケーションの名前、メーカー名、バージョン
たとえば、Microsoft Word 98、ジャストシステム一太郎9、IBM パーソナル・コミュニケーションズ (PCOMM) Ver.4.X、など
 - 修正プログラムを適用しているときは、そのレベル
たとえば、次のような情報です。
 - Microsoft Word のときは、Service Release のレベル
 - PCOMM のときは、CSD のレベル
 - アプリケーションの設定画面で指定している内容
たとえば、次のような情報です。
 - Microsoft Word なら「ファイル」→「ページ設定」で指定している内容
 - 一太郎なら「ファイル」→「文書スタイル」で指定している内容
 - PCOMM ならプリンター・セッションの「ファイル」→「プリンター設定」や「印刷制御」で指定している内容
 - 問題を起こす文書を作成したときの環境が、印刷したときの環境と同じかどうか (たとえば文書の作成時に IBM 5588 プリンター・ドライバーを選択した状態で、フォントや解像度を指定し、その文書を別のコンピュータで InfoPrint 40 に印刷した、など)
 - システムに常駐して動作しているソフトウェアの名前、メーカー名、バージョン
 - ウィルス駆除プログラムなど

8) お使いのプリンター・ドライバーの情報

- データ・ストリームの種類

たとえば、次のような情報です。

- PCL5e
- PostScript
- PAGES
- ESC/P
- IPDS
- SCS

- プリンター・ドライバーのバージョン

プリンター・ドライバーのバージョンは、ドライバーの設定画面で「バージョン」ボタンを押すと表示されます。設定画面の表示方法は『プリンター・ドライバーの設定を行う』（29 ページ）を参照してください。

Windows NT 4.0 の PAGES ドライバーのバージョンは、次のようにして調べます。

- 「プリンターのプロパティ」画面を表示させます。
- 「デバイスの設定」タブをクリックします。
- 画面の上の方に表示されている「IBM InfoPrint 40 PAGES デバイスの設定」をクリックします。
- 画面の下側に「ラスタ プリンタ ドライバのバージョン情報」ボタンが表示されるので押します。
- 次の3つのバージョンが表示されます。
 - ラスタ・プリンター・ドライバーのバージョン（これは InfoPrint 40 ドライバーのバージョンではなく、OS に含まれる汎用ドライバーのバージョンです）
 - オペレーティング・システムのバージョン
 - プリンター・ドライバーのバージョン

このうち最後のバージョンが、プリンター・ドライバーのバージョンです。

バージョンの調べ方について詳しくは、ドライバーに付属している Readme ファイルやドキュメント・ファイルを参照してください。

- プリンター・ドライバーの設定画面で指定している内容
 - 指定している用紙サイズ、印刷の向き、給紙トレイ、排紙トレイ、解像度、装置オプション、など。
 - スプール・データの形式 (RAW か EMFか)
 - データ送信のタイプ (全ページ分を一度に送るか、1 ページ分スプールしたら送るか)
 - 出力ポートの種類 (パラレル、LPR など。WIN-OS/2 をお使いのときは、LPTx か LPTx.OS2 かなど)
 - 出力ポートの設定情報 (タイムアウト値など)
 - Windows 3.1 や WIN-OS/2なら、プリント マネージャを使っているかどうか
 - WIN-OS/2 のときは、OS/2側 のプリンター・オブジェクトに何を使っているか (通常のドライバーか IBMNULL か)
- 9) ディスプレイ環境の情報
 - ディスプレイ・アダプターの名前、製造元、バージョン
 - ディスプレイ・ドライバーの名前、製造元、バージョン
 - 問題が起きるときの解像度と色数
- 10) コンピューターにネットワーク・カードを付けているときは
 - ネットワーク・カードの名前と開発元
 - オペレーティング・システムが認識しているカード名 (たとえばコントロール パネルに表示されるカード名)
- 11) Windows NT をお使いのときは
 - 問題が起きたときのユーザーの権限 (Administrators、Users など、どのグループに属するか)
- b. ホスト・コンピューターをお使いのとき
 - 1) システムのハードウェア構成
 - 機種名、モデル名など
 - 2) システムのソフトウェア構成
 - オペレーティング・システムの種類 (OS/390、OS/400 など) とバージョン、PTF レベルなど。
 - お使いのソフトウェアの名前とバージョン (HPT、IMS、CICS など)。

c. ネットワーク環境でお使いのとき

1) ネットワークの種類

- トークンリング
- イーサネット
- COAX
- TWINAX

2) ネットワーク・プロトコルの種類

たとえば、次のような情報です。

- TCP/IP
- NetBEUI
- IPX/SPX

3) ネットワーク・ソフトウェアの種類とバージョン

たとえば、次のような情報です。お使いのものをすべてお知らせください。

- NetWare
- Microsoft TCP/IP印刷 (LPR)
- IBM LPR Remote Printing Client
- LAN Server
- LAN Manager

4) Windowsをお使いのときは

- ドメインやワークグループを使って管理しているか
- 共有の機能を使っているか

5) プリント・サーバーの情報

- パーソナル・コンピューターやワークステーションをプリント・サーバーとしてお使いのとき
 - 機種名とメーカー名
 - システム BIOS の製造元、バージョン、日付
 - 搭載メモリー容量
 - 搭載ハード・ディスクの容量と空き容量 (OS がインストールされているドライブとスプール・データを保管するドライブの両方)
 - オペレーティング・システムの名前とバージョン

- オペレーティング・システムに適用されている修正プログラムのレベル (Service Pack や Fix Pack など)
- システムに常駐して動作しているソフトウェア (ウイルス駆除プログラムなど) の名前、メーカー名、バージョン
- プリンター・ドライバーの種類とバージョン
- プリンター・ドライバーの設定情報の内容 (スプール・データの形式が RAW か EMF かなど)
- ネットワーク・カードの名前と開発元
- オペレーティング・システムが認識しているカード名 (たとえばコントロール パネルに表示されるカード名)
- 専用のハードウェアをプリント・サーバーとしてお使いのとき
 - 機種名とメーカー名
Intel Netport など
 - 設定情報の内容

3. 問題の詳細

a. 現象を詳しくお知らせください。

たとえば「印刷しない」という問題のときは、単に「印刷しない」だけでなく、次のような詳しい状況をお知らせください。

- 操作パネルにメッセージが表示されていれば、メッセージの内容。
- 「何も出力されない」、「紙は出るが白紙のまま」、「サーバーに印刷ジョブが送られるがサーバー上で消えてしまう」など問題の詳しい内容。

b. 印刷結果に問題があるときは、問題を識別できる印刷結果を添付してください。条件を変えると正常に印刷できるときは、正常な印刷結果も添付してください。

c. 印刷速度に問題があるときは、問題があるときの印刷結果を添付してください。

d. 操作パネルにメッセージが表示されるときは、メッセージの内容をお知らせください。特に「F/W xxxxxx」と表示されるときは、エラー番号 (xxxxxx) を必ず控えておいてください。

e. 次の情報をご提供いただけると、問題解決がさらに早まります。

- 問題を起こすときの印刷データをファイル (PRN ファイル) に保存したもの。たとえば、Windows をお使いのときは、出力先ポートに FILE を指定すると、印刷データをファイルに保存できます。

- PRN ファイルの取得ができないときは、16 進ダンプ。16 進ダンプは、操作パネルの「テスト・メニュー」の「オンライン HEX インサツ」を使うと印刷できます。
- 特定のアプリケーションからの印刷結果に問題が起きるときは、問題を起こす文書データ（たとえば Microsoft Word なら DOC ファイル）を差し支えない範囲でご提供いただけると問題の解決が早まります。
- PAGES をお使いのときは、次のプリンター・ドライバーに代えても問題が再現するかどうかを確認できると、問題解決が早まります。
 - IBM 5588 用の PAGES ドライバー（InfoPrint 40 に印字して結果を確認します）
 - InfoPrint 40 用の PCL ドライバー
 - InfoPrint 40 用の PostScript ドライバー

4. 問題の再現性

次のどれにあたるかをお知らせください。

a. 常に発生する。

b. ときどき発生する。

次の点をご確認ください。

- プリンターの電源を入れ直した直後でも発生しますか？
- パーソナル・コンピューターやプリント・サーバーを再起動しても発生しますか？
- どんなときに発生頻度が高くなりますか？

c. 特定の条件で発生する。

たとえば、次のようなものです。

- 特定の給紙トレイや排紙トレイを使ったときだけ起きる。
- 特定のコンピューターから印刷したときだけ起きる。
- プリンターの電源を入れ直した直後は起きないが、1000 枚以上印刷すると起きる。
- システム構成やネットワーク構成を変更した後、発生するようになった。
- 特定のアプリケーションをシステムに導入したり削除したりした後、発生するようになった。

d. 再現しない。

電源投入時の異常

症状	対策
電源スイッチを入れても、操作パネルのランプが点灯しない。	<ol style="list-style-type: none">電源コードを確認してください。<ul style="list-style-type: none">コンセントに確実に差し込んでいますか？プリンター背面のコネクターに確実に差し込んでいますか？コンセントに電気が来ているかを、ほかの電気器具に差し替えて確かめてください。コントローラー・カードの装着が緩んでいないか確認してください。『コントローラー・カードを再び取り付ける』(242 ページ)を参照してください。コントローラー・カードの上に載っている SIMM やハード・ディスクが緩んでいないか確認してください。SIMMについては、取り付け位置が正しいかどうか確認してください。『SIMM とハード・ディスク』(236 ページ)を参照してください。
プリンターの電源をいったん切って、入れ直したら、プリンターが動かなくなった。	<p>電源を切った直後に電源を入れ直さないでください。</p> <ol style="list-style-type: none">電源を再び切ります。そのまま10秒待ちます。それから電源を再び入れます。
トナー・カートリッジを交換したら、プリンターが動かなくなりました。	<ol style="list-style-type: none">プリンターの電源を切ります。プリンターのカバーを開いて、トナー・カートリッジを取り付け直します。『トナー・カートリッジを交換する』(207 ページ)を参照してください。次の点に注意してください。<ol style="list-style-type: none">トナー・カートリッジは水平に持ってください。振ったり傾けたりすると、トナーがこぼれます。トナー・カートリッジを袋から取り出したときに付いていたテープや梱包材はすべて取り除きます。カートリッジの端に付いていた黄色いテープも外してください。

操作パネルの異常

症状	対策
操作パネルのキーが機能しない。	<ol style="list-style-type: none"> 〈オンライン〉ランプが点灯しているとき プリンターが印刷可能状態になっています。[オンライン] キーを押して「オフライン」にしてください。 〈継続〉ランプが点灯しているとき [継続] キーか [印刷取消] キーのどちらかを押す必要があります。『操作パネルのランプ』(36 ページ)を参照してください。
液晶表示部に黒い長方形が表示されている。	<p>コントローラー・カードの取り付け方と、コントローラー・カード上の部品の取り付け方を確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> コントローラー・カードの取り付け方が正しいか、特に緩んでいないか確認します。『コントローラー・カードを再び取り付ける』(242 ページ)を参照してください。 コントローラー・カードの上に載っているSIMMやハード・ディスクが緩んでいないか確認します。SIMMについては、取り付け位置が正しいかどうか確認してください。『SIMM とハード・ディスク』(236 ページ)を参照してください。
[印刷取消] キーを押しても印刷ジョブを取り消せない。	<ol style="list-style-type: none"> 〈オンライン〉ランプが点灯しているとき [オンライン] キーを押して「オフライン」にしてから [印刷取消] キーを押してください。 PAGES の印刷ジョブのとき [印刷取消] キーは無効になります。PAGES の印刷ジョブの取り消し方は『印刷ジョブを取り消す』(45 ページ)を参照してください。

症状	対策
<p>設定を工場出荷時の状態にリセットできない。</p>	<p>操作パネルの「テスト・メニュー」の「シュッカジノセッテイ」を使うと、ほとんどのメニュー設定値はリセットされ、工場出荷時の状態に戻ります。ただし、次の値はリセットされません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ゲンゴ • ホジョサイズ • PCLホカン • PSホカン • PAGESホカン • トナー・ノウド • ソウホウコウ • IP ADDRESS • SUBNET MASK • GATEWAY ADDRESS • MACアドレス <p>すべての設定値をリセットするには「コールド・リセット」を実行します。ただし、コールド・リセットを実行しても、インターネット・アドレス（IP ADDRESS、SUBNET MASK、GATEWAY ADDRESS、MACアドレス）はリセットされません。</p> <p>リセットを行う前にプリンター構成ページを印刷し、古い設定値を復元できるようにすることをお勧めします。</p> <p>詳しくは『リセット メニュー』（130 ページ）の「シュッカジノセッテイ」の説明を参照してください。</p>

用紙送りの異常

症状	対策
<ul style="list-style-type: none"> • 用紙のサイズが間違っている。たとえば、A3用紙に印刷したいのに、A4用紙に印刷されてしまう。 • 間違ったトレイから給紙されてしまう。たとえば、トレイ3から給紙したいのに、トレイ1から給紙されてしまう。 • 出力先の排紙トレイが間違っている。たとえば、フィニッシャー1に排紙したいのに、メイン・トレイに排紙されてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> • お使いのアプリケーションに用紙サイズ、給紙トレイ、排紙トレイを指定する機能があるかどうかを確認します（印刷機能がある多くのアプリケーションは、用紙サイズを指定できます。給排紙トレイを指定できるアプリケーションはわずかです）。もしも指定できるのなら、正しく指定しているか確認します。アプリケーションからの指定は、プリンター・ドライバーでの指定や、操作パネルでの指定よりも優先されます。プリンター・ドライバーや操作パネルでの指定は無効になります。アプリケーションから指定する例を挙げます。 <ul style="list-style-type: none"> - Microsoft Wordではメニューから、ファイル→ページ設定を選んで用紙サイズと給紙トレイを指定します。 - 一太郎ではメニューから、ファイル→文書スタイルを選んで用紙サイズを指定します。 <p>アプリケーションで指定しないと、プリンター・ドライバーでの指定が有効になります。たとえば、次のようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 一太郎では用紙サイズを指定できますが、給紙トレイは指定できません。したがって、用紙サイズについては一太郎での指定が有効になります。プリンター・ドライバーの指定は無効です。しかし給紙トレイについては、プリンター・ドライバーでの指定が有効になります。 <p>(次のページに続く)</p>

症状	対策
(続き)	<ul style="list-style-type: none"> • プリンター・ドライバーを使っているときは、用紙サイズ、給紙トレイ、排紙トレイを正しく指定しているか設定画面で確認します。プリンター・ドライバーでの指定は、操作パネルでの指定よりも優先されます。操作パネルの指定は無効になります。プリンター・ドライバーの設定画面の表示方法は『プリンター・ドライバーの設定を行う』(29 ページ) を参照してください。次の点にご注意ください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. ドライバーによっては、オプションの給紙トレイや排紙トレイを選ぶときに、あらかじめそのオプションが付いていることを別の設定画面で指定しておく必要があります。たとえば、Windows 95、98用のPAGESドライバーは、インストール直後は給紙トレイから「トレイ3」を選択できません。「装置オプション」タブで「2500枚給紙ユニットが付いている」ことを指定して初めて、給紙トレイからトレイ3を選べるようになります。 2. プリンター・ドライバーの設定画面は、通常はアプリケーションの中からメニューをたどって表示させます。たとえば、次のようにします。 <ul style="list-style-type: none"> - Microsoft Wordや一太郎ではメニューから、ファイル→印刷→プロパティの順序で選択します。 - ロータス ノーツ(Lotus Notes)ではメニューから、ファイル→印刷→プリンター→設定の順序で選択します。 <p>(次のページに続く)</p>

症状	対策
	<p>(前のページから続く)</p> <p>3. プリンター・ドライバーの設定画面は、通常プリンターのアイコンからも表示できます。一般には、アプリケーションから表示させた設定画面の方が優先されます。たとえば、次のようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> - Windows 95では「プリンタ」フォルダーでプリンターのアイコンを右クリックして「プロパティ」を選ぶと、設定画面（プロパティ画面）が表示されます。PAGESドライバーの場合「装置オプション」や「印刷オプション」は、「プリンタ」フォルダーから表示させた設定画面で指定します。ほかのオプション（用紙設定や給排紙など）は、アプリケーションから表示させた設定画面で指定します（アプリケーションから表示させた設定画面の方が優先されます）。 - Windows NT 4.0では「プリンタ」フォルダーから2種類の設定画面を表示できます。アイコンを右クリックして「プロパティ」を選ぶと「プリンターのプロパティ」画面が表示されます。アイコンを右クリックして「ドキュメントの既定値」を選ぶと「既定のドキュメントのプロパティ」画面が表示されます。「プリンターのプロパティ」は、アプリケーションから表示させるドライバーの設定画面（ドキュメントのプロパティ）とは違います。「プリンターのプロパティ」は常に有効なので、正しい設定を行う必要があります。「既定のドキュメントのプロパティ」は、アプリケーションから表示させる「ドキュメントのプロパティ」の初期値を指定するためのものです。用紙サイズ、給排紙トレイなどは、ドキュメントのプロパティ（アプリケーションから表示させたドライバー設定画面）での指定が有効になります。 <p>(次のページに続く)</p>

症状	対策
	<p>(前のページから続く)</p> <p>4. ドライバーによっては、給紙トレイを「自動選択」する機能があります。「自動選択」は、指定した用紙が入っている給紙トレイを、プリンターが自動的に選ぶ機能です（ドライバーによっては、この機能を「プリンターによる自動選択」と呼ぶことがあります）。例を挙げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - Windows 95、98のPAGESドライバーでは、給紙トレイに「自動選択」があります。たとえば、用紙サイズに「A4」、給紙トレイに「自動選択」を選んだとします。このときは、A4用紙が入っている給紙トレイをプリンターが自動的に探して給紙してくれます。 - Windows NT 4.0のPAGESドライバーでは、給紙トレイに「プリンターによる自動選択」があります。これは、Windows 95、98のPAGESドライバーの「自動選択」と同じ機能です。 <p>Windows NT 4.0の「自動選択」は意味が違います。これは次の項で説明します。</p> <p>5. Windows NT 4.0には、給紙トレイを「自動選択」する機能があります。ドライバーをインストールした直後は「自動選択」が有効になっています。NT 4.0の自動選択とは「プリンターのプロパティ」で指定した給紙トレイと用紙サイズの対応をもとにして、指定した用紙サイズからNTが給紙トレイを選択する機能です。給紙トレイの選択がうまくいかないときは「プリンターのプロパティ」（プリンター・フォルダーから表示できる設定画面）で給紙トレイと用紙サイズの対応を正しく指定しているか確認してください。詳しくは、ドライバーに付属しているドキュメントか、オペレーティング・システムのドキュメントを参照してください。</p> <p>(次のページに続く)</p>

症状	対策
	<p>(前のページから続く)</p> <p>6. Windows NT 3.51では、アプリケーションから表示させるドライバー設定画面（文書属性）で給紙トレイを指定しません。給紙トレイは、指定した用紙サイズと「プリンタセットアップ」の設定内容をもとに、NTが選択します。詳しくは、ドライバーに付属しているドキュメントか、オペレーティング・システムのドキュメントを参照してください。</p> <p>7. 給紙トレイを選ぶとき「自動選択」を使わず、明示的に給紙トレイを指定することもできます。このときは、指定した給紙トレイにたとえ間違ったサイズ of 用紙が入っていても、常に指定した給紙トレイから給紙されます。たとえば、アプリケーションで指定した用紙サイズが「A4」で、給紙トレイに「トレイ3」を指定したとします。このときは、たとえトレイ3にA4以外の用紙が入っていても、トレイ3から給紙されません。</p> <p>8. 印刷ジョブがPAGESで、補助トレイから給紙するときは「ヨウシメニュー」の「ホジョサイズ」で用紙サイズを必ず指定します（プリンター・ドライバーで指定すると同時に「ホジョサイズ」の指定も必要です）。『補助トレイの用紙サイズを変える』（95 ページ）を参照してください。</p> <p>9. 印刷ジョブがPAGESで、封筒トレイから給紙するときは「ヨウシメニュー」の「フウトウサイズ」で封筒サイズを必ず指定します（プリンター・ドライバーで指定すると同時に「フウトウサイズ」の指定も必要です）。『封筒トレイの封筒サイズを変える』（96 ページ）を参照してください。</p> <p>(次のページに続く)</p>

症状	対策
(続き)	<ul style="list-style-type: none"> • 印刷ジョブの中で用紙サイズや給排紙トレイを指定していないときは、操作パネルの指定が有効になります。たとえば、次のような場合が該当します。 <ul style="list-style-type: none"> – テキスト・ファイルをcopyコマンドやlprコマンドなどで直接プリンターに送ったとき – アプリケーションが生成した印刷ファイルを、ドライバーを使わずに直接プリンターに送るとき <p>「ヨウシ メニュー」の「ソース」、「シュツリョク」を確認します。『ヨウシ メニュー』(132 ページ) を参照してください。操作パネルでの指定は、印刷ジョブが給排紙トレイを指定していないときだけ（つまりアプリケーションやプリンター・ドライバーで給排紙トレイを指定していないときだけ）有効です。通常の使い方では無視されます。補助トレイや封筒トレイから給紙するときは「ヨウシ メニュー」の「ホジョサイズ」や「フウトウサイズ」の指定も確認してください。</p> • プリンターの「用紙グループ」の設定が正しいか確認します。たとえば、プリンターが「A4用紙グループ」になっているとします。このときは、Executiveとリーガル用紙はサポートされません。レター用紙はLEF（長い辺を先に送る給紙方向）だけがサポートされます。SEF（短い辺を先に送る給紙方向）はサポートされません。用紙グループについて詳しくは、『サイズ』(54 ページ) の注を参照してください。 • 給紙トレイについて、以上を確認しても問題が解決しないときは「トレイ切り替え機能」が働いていることが考えられます。『ヨウシ メニュー』(132 ページ) の「トレイ・スイッチ」の説明を参照してください。

症状	対策
紙詰まりがよく起きる。	<ul style="list-style-type: none"> • 用紙を正しくセットしているか確かめます。『用紙のセット』(62 ページ) を参照してください。特に、給紙トレイの中の用紙ガイドの位置が正しいか確認してください。 • 裏面印刷をしないでください。既に印字した紙の裏側に印刷すると、紙詰まりの原因になります。 • 一度プリンターから排出された紙を使わないでください。たとえ白紙でも紙詰まりの原因になります。 • 用紙が規格外か不良品である可能性があります。『用紙の種類』(52 ページ) を参照してください。 • プリンターの内部に紙切れやクリップなどが残っていないか点検してください。ローラーなどに付着した接着テープや糊が原因になることもあります。『第5章 紙詰まり (ジャム) の除去』(105 ページ) を参照して、プリンターの内部をよく点検してください。 • 用紙を逆向きに入れ替えて、給紙トレイにセットしてみてください。 • 用紙が吸湿しているか、乾燥しすぎている可能性があります。新しく開封した用紙と交換してください。 • 用紙をよくさばいでください。 <p>(次のページに続く)</p>

症状	対策
	<p>(前のページから続く)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 補助トレイまたは封筒トレイから給紙しているときは、用紙サイズの指定が正しいか確認してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. アプリケーションやプリンター・ドライバーで用紙サイズを正しく指定しているか確認してください。 2. PAGES のときは、操作パネルの「ヨウシ メニュー」の「ホジョ サイズ」または「フウトウサイズ」で用紙サイズを必ず指定します。次のページを参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> - 『補助トレイに用紙をセットする』(68 ページ) - 『補助トレイに封筒をセットする』(76 ページ) - 『封筒トレイに封筒をセットする』(88 ページ) 3. 不定形用紙や不定形封筒を給紙するときは、アプリケーションやプリンター・ドライバーで指定した用紙サイズと、実際の用紙サイズが合っていることを確認してください。PAGESのときは、操作パネルの「ヨウシ メニュー」で「ホジョサイズ=フテイケイ」または「フウトウサイズ=フテイケイ (フウトウ)」を必ず指定します。次のページを参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> - 『補助トレイに不定形用紙をセットする』(73 ページ) - 『封筒トレイに不定形封筒をセットする』(91 ページ) • 両面印刷時に紙詰まりが起きるときは、次の点を確認してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 両面印刷ユニットの取り付け方に問題がある可能性があります。『両面印刷ユニットを取り付ける』(248 ページ) を参照してください。 2. 不定形用紙は両面印刷ができません。 • 以上の点をすべて試みても紙詰まりが起きるときは、用紙送りローラーを交換してみてください。用紙送りローラーは、ユーザー・メンテナンス・キットに同梱されています。『ユーザー・メンテナンス・キットを交換する』(219 ページ) を参照してください。

症状	対策
<ul style="list-style-type: none"> • 両面印刷ができない。 • 両面印刷時の裏面の向きが正しくない。 	<ul style="list-style-type: none"> • お使いのアプリケーションに両面印刷を指定する機能があるかどうかを確認します。もしも指定できるのなら、正しく指定しているか確認します。アプリケーションからの指定は、プリンター・ドライバーでの指定や、操作パネルでの指定よりも優先されます。プリンター・ドライバーや操作パネルでの指定は無効になります。 • プリンター・ドライバーを使っているときは、両面印刷を正しく指定しているか設定画面で確認します。プリンター・ドライバーでの指定は、操作パネルでの指定よりも優先されます。操作パネルの指定は無効になります。次の点にご注意ください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. プリンター・ドライバーの設定画面は、通常はアプリケーションの中からメニューをたどって表示させます。たとえば、次のようにします。 <ul style="list-style-type: none"> - Microsoft Wordや一太郎ではメニューから、ファイル→印刷→プロパティの順序で選択します。 - ロータス ノーツ(Lotus Notes)ではメニューから、ファイル→印刷→プリンタ→設定の順序で選択します。 2. プリンター・ドライバーの設定画面は、通常プリンターのアイコンからも表示できます。一般には、アプリケーションから表示させた設定画面の方が優先されます。 • 印刷ジョブの中で両面印刷を指定していないときは、操作パネルの指定が有効になります。たとえば、次のような場合が該当します。 <ul style="list-style-type: none"> - テキスト・ファイルをcopyコマンドやlprコマンドなどで直接プリンターに送ったとき - アプリケーションが生成した印刷ファイルを、ドライバーを使わずに直接プリンターに送るとき <p>「ヨウシ メニュー」の「リョウメン」を確認します。『ヨウシ メニュー』(132 ページ)を参照してください。操作パネルでの指定は、印刷ジョブが両面印刷を指定していないときだけ(つまりアプリケーションやプリンター・ドライバーで両面印刷を指定していないときだけ)有効です。通常の使い方では無視されます。</p> <p>(次のページに続く)</p>

症状	対策
	<p>(前のページから続く)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 不定形用紙、封筒、はがき、OHPフィルム、ラベル紙は、両面印刷ができません。 • 両面印刷で裏面の向きが正しくないときは、次の点を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> - プリンター・ドライバーを使っているときは、設定画面の両面印刷の指定を確認します。 - プリンター・ドライバーを使っていないときは、操作パネルの「ヨウシメニュー」の「バイディング」(とじ方向)の指定を確認します。

症状	対策
<ul style="list-style-type: none"> • 白紙が出力される。 • 一度に2枚以上重ねて排紙される（重送）。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 不規則に白紙が混じるときは、用紙が重送されています。 <ol style="list-style-type: none"> a. 用紙を逆向きに入れ替えて、給紙トレイにセットしてみてください。給紙の向きを反対にすると、重送しにくくなる場合があります。 b. 用紙が吸湿しているか、乾燥しすぎている可能性があります。新しく開封した用紙と交換してください。 c. 用紙をよくさばいてください。 2. 特定の位置に常に白紙が混じるときは、印刷データに問題があります。 <ol style="list-style-type: none"> a. プリンター・ドライバーを最新のバージョンにしてください。最新バージョンの入手方法は『インターネットからのダウンロード・サービス』（16 ページ）を参照してください。Windows NTの場合、プリンター・ドライバーを更新（バージョンアップ）したときは、コンピューターを再起動してください。 b. PAGESのときは、プリンター・ドライバーの設定画面で、白紙ページを印刷するかどうかを指定できます（白紙節約機能）。Windows NTの場合、排紙トレイを選ぶメニューの中で白紙節約を指定します。詳しくは、ドライバーのヘルプか、ドライバーに付属しているドキュメントを参照してください。 3. すべてのページが白紙のときは、トナーが少なくなっている可能性があります（トナーが少ないことを、センサーが検出していない可能性があります）。トナー・カートリッジを交換します。『トナー・カートリッジを交換する』（207 ページ）を参照してください。 4. トナー・カートリッジを交換しても、すべてのページが白紙のままのときは、ユーザー・メンテナンス・キットを交換します。『ユーザー・メンテナンス・キットを交換する』（219 ページ）を参照してください。
<ul style="list-style-type: none"> • 印刷開始に時間がかかりすぎる。 • 印刷のたびに「ウォーミング・アップ」が表示される。 	<p>節電モードに入るまでの時間を長くします。『節電モードに入るまでの時間を変える』（50 ページ）を参照してください。</p>

症状	対策
用紙を補充したら、プリンターが動かなくなった。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 給紙トレイを開け閉めして、きちんと閉まったか確かめます。 2. 用紙を正しくセットしているか確かめます。『第4章 用紙の取り扱い』(51 ページ) を参照してください。
トレイ切り替え機能 (トレイ・スイッチ) が正しく動作しない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「ヨウシ メニュー」の「トレイ・スイッチ」が「オン」になっているか確かめます。『ヨウシ メニュー』(132 ページ) を参照してください。 2. たとえ用紙サイズが同じでも、用紙の向きが違うと、トレイ切り替えの対象にはなりません。たとえば、トレイ1にA4用紙がSEF (Short-edge feed、短い辺から先に送る給紙方向)で入っており、トレイ3にA4用紙がLEF (Long-edge feed、長い辺から先に送る給紙方向)で入っているとします。このときは、トレイ切り替え機能は働きません。用紙をセットし直して、両方ともSEFにするか、両方ともLEFにしてください。『ヨウシ メニュー』(132 ページ) の「トレイ・スイッチ」の説明を参照してください。
給紙トレイの中で用紙がカールしてしまう。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 給紙トレイの取り付け方が正しいか確認します。 2. 用紙が仕様に従っているか確認します。『用紙の種類』(52 ページ) を参照してください。 3. 用紙の保管場所がプリンターの設置場所と違うときは、温度や湿度が同じかどうか確かめます。温度や湿度が違うときは、用紙を包装紙に入れたまま、プリンターの設置場所になじませます。 4. 残った用紙は、吸湿や乾燥を防ぐため、元の包装紙に包んで保管します。 5. カールした紙を給紙トレイの中で裏返しにして置き、カールを元に戻します。 6. 用紙をプリンターにセットする直前まで、包装紙を開封しないでください。包装紙から出して数日以上たった用紙は使わないでください。

症状	対策
<p>プリンター構成ページを正常に印刷できない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 給紙される用紙のサイズが違う。たとえば、A4 に印刷したいのに、B4 に印刷される。 「011 □ヲ○ニロード」というメッセージが表示される。 印字データが用紙に収まらず、データの一部だけが印刷される。 	<ul style="list-style-type: none"> 用紙サイズの指定を確かめます。 <p>プリンター構成ページの用紙サイズの指定は「PCL メニュー」の「ヨウシサイズ」で行います。『PCLの省略時の用紙サイズを変える』(98 ページ) を参照してください。</p>

印字に関する異常

症状	対策
<p>印字しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 〈オンライン〉ランプが点灯していることを確認してください。液晶表示部が「オフライン」になっているときは[オンライン]キーを押して「インサツカノウ」にしてください。 プリンターの接続ケーブルが外れていないか確認してください。 プリンター構成ページを印刷します。印刷方法は『プリンター構成ページを印刷する』(40 ページ) を参照してください。「PORT TIMEOUT」と「PERSONALITY」の値に問題がないか確認してください。これらは操作パネルのメニューの「ポート・タイムアウト」と「パーソナリティ」で指定します（通常は工場出荷時の値のまま構いません）。次のページを参照してください（プリンターの接続方法によって参照ページが変わります）。 <ul style="list-style-type: none"> 『TOKEN RING メニュー』(176 ページ) 『ETHERNET メニュー』(181 ページ) 『パラレル・メニュー』(150 ページ) 『COAX セッテイ メニュー』(195 ページ) 『TWINAX セッテイ メニュー』(198 ページ) <p>「ポート・タイムアウト」と「パーソナリティ」以外についても設定値に問題がないか確認してください。</p> <p>(次のページに続く)</p>

症状	対策
	<p>(前のページから続く)</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンピューターに導入されているプリンター・ドライバーを確認してください。次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> - プリンター・ドライバーの種類（機種名、データ・ストリームの種類）が正しいかどうか。PAGESプリンター・ドライバーは、プリンター本体にPAGES & ESC/Pオプションを導入しているときだけ利用できます。 - ドライバーの設定画面でポート（出力先）を正しく指定しているかどうか（たとえばイーサネット接続なのにパラレル・ポートを指定していないか）。 - プリンター・ドライバーを更新（バージョンアップ）したときは、コンピューターを再起動したかどうか（Windows NTをお使いのときは再起動してください）。 - LPR プログラム（Microsoft TCP/IP 印刷など）を使っているときは、LPR ポートの設定が正しいかどうか（プリンターの IP アドレスまたはホスト名が正しいか、プリンターのキュー名は英大文字の「PASS」になっているか）。 • コンピュータ自体が操作不能になる（ハングアップする）ときは、次のようにしてください。 <ul style="list-style-type: none"> - 最新のプリンター・ドライバーを導入し直します。 - その後、オペレーティング・システムの最新の修正プログラム（Service Pack など）を導入し直します。特に、Windows NT 4.0 で日本語 PCL ドライバーを使っているときは、ドライバーの導入後に、Service Pack 3 以降を必ず再導入してください。 <p>(次のページに続く)</p>

症状	対策
(続き)	<ul style="list-style-type: none"> • パラレル接続のときは、次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> - テキスト・ファイルをコマンド・プロンプトで印字してみます。 たとえば、次のコマンドを実行します。 <code>copy c:\¥config.sys prn</code> もしも、これで正常に印刷できるならば、プリンター・ドライバーの設定に問題がないか調べます。 - 接続に使っているパラレル・ケーブルを点検します。次の条件を満たしている必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> - IBM 部品番号 81X7875、63H2804、またはこれらの同等品であること - 長さが3メートル以下であること • イーサネット接続またはトークンリング接続のときは、次の点を確認します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 構成ページを印刷します。次のページを参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> - 『イーサネット用ネットワーク・カード構成ページを印刷する』(46 ページ) - 『トークンリング用ネットワーク・カード構成ページを印刷する』(47 ページ) 2. 操作パネルの「テスト・メニュー」に、ネットワーク・カードの構成ページの印刷メニューが表示されないときは、カードが認識されていません。『ネットワーク・カード』(244 ページ)を参照して、カードを取り付け直してください。次のマニュアルも参照してください(プリンター本体に付属しています)。 <ul style="list-style-type: none"> - イーサネットおよびトークンリング構成の手引き 3. 以上を確認しても問題が解消しないときは、ネットワーク・カードが壊れている可能性があります。 <p>(次のページに続く)</p>

症状	対策
	<p>(前のページから続く)</p> <ul style="list-style-type: none"> • TWINAX接続またはCOAX接続のときは、次の点を確認します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. TWINAXカードまたはCOAXカードの裏面にあるTESTボタンを押して、内部構成ページを印刷します。カードが正しく接続され、動作しているかどうかを確認できます。 2. 次のマニュアルも参照してください（カードに付属していません）。 <ul style="list-style-type: none"> – Twinax/Coax 構成の手引き • 『印刷結果が乱れる』(321 ページ) も参照してください。問題の原因が共通していることがあります。
印刷速度が遅い	<ul style="list-style-type: none"> • お使いのプリンター・ドライバーが最新のものかどうかを確認してください。最新のプリンター・ドライバーの入手方法は『インターネットからのダウンロード・サービス』(16 ページ) を参照してください。 • 図表が多い文書を印刷しているときは、メモリー容量が十分か確認してください。操作パネルに「MRTアッシュクチュウ」が表示されるときは、次のようにして、このメッセージが表示されないようにすることをお勧めします。 <ol style="list-style-type: none"> 1. メモリーを増設してください。 2. 操作パネルの「ページホゴ」の指定を「オン」にします。「ページホゴ」は、「PCLメニュー」、「PSメニュー」、「PAGESメニュー」、「IPDSメニュー」の下にあります。プリンター・ドライバーの種類に応じて、操作パネルのメニューを選んでください。 • メモリーを増設済みのときは、プリンターが増設メモリーを認識しているか確認します。プリンター構成ページを印刷してください（40ページの『プリンター構成ページを印刷する』を参照）。「INSTALLED OPTIONS」の項目の「TOTAL MEMORY」を確認します。プリンターが増設メモリーを正しく認識していないときは、メモリーを取り付け直します。取り付け直してもプリンターが正しく認識しないときは、メモリーが壊れています。メモリーを交換してください。 <p>(次のページに続く)</p>

症状	対策
	<p>(前のページから続く)</p> <ul style="list-style-type: none"> • プリンター・ドライバーによっては、プリンターが搭載しているメモリーの容量を設定できるものがあります。そのようなドライバーをお使いのときは、正しくメモリー容量を設定しているか確認してください。 • プリンター・ドライバーの設定を変えてみてください。印刷速度に影響を与える設定項目としては、次のようなものがあります（ドライバーによってサポートしている項目が異なります）。詳しくは、ドライバーのヘルプか、ドライバーに付属しているドキュメントを参照してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. TrueTypeフォントのプリンターへのダウンロード 2. 罫線を走査 3. フォント代替 4. 解像度 • プリンター・ドライバーの種類を変えてみてください。PCL、PostScript、PAGESなど、ドライバーの種類を変えると印刷速度が変わることがあります。PAGESドライバーは、PAGES & ESC/Pオプションを導入しているときだけ利用できます。 • 給紙方向がSEF（Short-edge feed、用紙の短い辺を先に送る方向）のときは、LEF（Long-edge feed、用紙の長い辺を先に送る方向）に変えてください。通常、LEFの方がSEFよりも印刷速度が速くなります。LEF、SEFについては『サイズ』（54 ページ）を参照してください。 • プリンター・ドライバーに「ジャム回復」の設定項目があるときは「ジャム回復を行わない」設定にします。 • プリンター・ドライバーに「ジャム回復」の設定項目がないときは、操作パネルの「コウセイメニュー」で「ジャムカイク＝オフ」にします（プリンター・ドライバーの指定の方が、操作パネルの指定よりも優先されます）。『コウセイメニュー』（146 ページ）を参照してください。 • TrueType フォントをたくさん使っているときは、プリンター・フォント（PAGES なら「明朝」「ゴシック」）に変えてみてください。 <p>(次のページに続く)</p>

症状	対策
	<p>(前のページから続く)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 補助トレイから両面印刷を行うと、印刷速度が遅くなります。片面印刷にするか、または補助トレイ以外の給紙トレイを指定してください。 • 一度に2部以上を印刷しているときは「部単位で印刷」の機能を試してみてください。「部単位で印刷」は、プリンターにハード・ディスクが付いているときに、プリンター・ドライバーから指定できます。アプリケーションに「部単位で印刷」の機能があるときも、アプリケーションの機能は使わず、ドライバーの「部単位で印刷」を指定してみてください。 • IPDSのときは「IPDSメニュー」で「VPA CHK=オフ」を指定してみてください。 • 排紙トレイを変えて印刷速度が変わるか確認してください。特定の排紙トレイに出力するときだけ印刷が遅い場合は、次の点を確認してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. フィニッシャーを使っているときは、フィニッシャーへのケーブルの接続を確認します。 2. それでも問題が起きるときは、排紙トレイのエラーが原因で、プリンター本体のマイクロコードがタイムアウト処理を繰り返している可能性があります。お買い上げの販売店または貴社担当の営業担当員にご連絡ください。

症状	対策
<ul style="list-style-type: none"> • 印刷結果が乱れる。 • ごみが印字される。 • 数ページ印刷した後、白紙が大量に出力される。 • プリンター・フォントの部分だけが印刷される。TrueTypeフォントの部分の部分が白く抜ける。 	<ul style="list-style-type: none"> • 用紙が正しく選択されていない可能性があります。アプリケーションやプリンター・ドライバーで指定した用紙サイズと、実際に給紙されている用紙サイズが合っているか、確認してください。『用紙送りの異常』(303 ページ)の「用紙のサイズが間違っている」の説明を参照してください。 • データ・ストリームが合っていない可能性があります。次の点を確認してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. お使いのプリンター・ドライバーが出力するデータを、プリンターが正しく認識しているか確認してください。たとえば、PAGESのプリンター・ドライバーから出力したときは、操作パネルに「PAGES トークンリング」や「PAGES イーサネット」などのメッセージが一瞬表示されます。 2. もしもお使いのプリンター・ドライバーの種類と、操作パネルに表示されるデータ・ストリームの種類が合っていないときは、操作パネルの「パーソナリティ」の指定を変えてください。工場出荷時は「パーソナリティ=オート」になっています。たとえばPCLをお使いなら「パーソナリティ=PCL」に変えてください。「パーソナリティ」のメニュー項目は「パラレル・メニュー」、「TOKEN RINGメニュー」、「ETHERNETメニュー」などの下にあります。接続の種類に応じて、該当するメニュー項目を調べてください。 3. PAGESのキャラクター・モードをお使いのときは「パーソナリティ=PAGES」にしてください。詳しくは『PAGES メニュー』(168 ページ)の「キャラクタ・モード」の説明を参照してください。 <p>(次のページに続く)</p>

症状	対策
	<p>(前のページから続く)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 用紙の余白（マージン）が小さすぎる可能性があります。6.4mm以上の余白を指定することをお勧めします。「印字位置がずれている」の項目 (326 ページ) を参照してください。 • プリンター・ドライバを更新（バージョンアップ）したときは、コンピューターを再起動してください。特にWindows NTのときは再起動が必要です。 • オペレーティング・システムのレベルが正しいか確認してください。詳しくは、プリンター・ドライバに付属しているReadmeファイルやドキュメントファイル、ヘルプなどを参照してください。たとえば、Windows NT 4.0 PAGESドライバでフォント代替機能を利用するときは、Service Pack 4以上が必要です。フォント代替機能を使わないときは、Service Pack 3 以上で動作します。 <p>(次のページに続く)</p>

症状	対策
	<p>(前のページから続く)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Windows か OS/2 を使っていて、特定の機種のコピー用コンピュータだけで問題が起きるときは、次の点を確認してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. コピー用コンピュータの BIOS のレベルを確認してください。BIOS が古いときは、更新してください。 2. パラレル接続で問題が起きるときは、パラレル・ポートの設定を確認してください。 3. ディスプレイ・ドライバーのバージョンを確認してください。ディスプレイ・ドライバーを最新のものにすることで、問題が解決することがあります。 • WIN-OS/2 を使っているときは、次の点を確認してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. プリントマネージャを使って印刷してください。「コントロール パネル」の「プリンタ」をダブルクリックして「プリンタの設定」を表示させます。この画面で「プリントマネージャを使う」のチェックが外れていたら、チェックします。 2. 出力ポートが「LPTx」（LPT1 など）になっていたら、「LPTx.OS2」（LPT1.OS2 など）に変えてください。 3. OS/2 用のプリンター・ドライバーでなく、Windows 3.1 用のプリンター・ドライバーを使ってください。 4. OS/2 側で印刷せず、WIN-OS/2 だけから印刷するときは、OS/2 側に IBMNULL ドライバーを使うプリンター・オブジェクトを作成してください。 <p>(次のページに続く)</p>

症状	対策
(続き)	<ul style="list-style-type: none"> • ネットワーク印刷を行っているときは、スプール・データの形式を確認してください。 Windows NT 4.0を印刷サーバーにして、Windows 95から印刷データを送っているときは、次のようにしてください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. Windows NT 4.0の設定を変えます。 <ol style="list-style-type: none"> a. 「プリンタ」フォルダーのInfoPrint 40のアイコンを右クリックして「プロパティ」を選びます。「プリンターのプロパティ」画面が表示されます。 b. 「全般」タブをクリックしてから「プリント プロセッサ」ボタンを押します。「プリント プロセッサ」画面が表示されます。 c. 「既定のデータの種類」が「NT EMF 1.003」になっているときは「RAW」に変えます。 2. Windows 95クライアントの設定を変えます。 <ol style="list-style-type: none"> a. Windows 95のプリンター・ドライバーの設定画面（プロパティ）を開きます。 b. 「設定」タブの「スプールの設定」ボタンを押します。「プリンタ スプールの設定」画面が表示されます。 c. 「スプール データ形式」に「RAW」を指定します。 • Windows NT 4.0でLPRプログラム（Microsoft TCP/IP印刷など）を使っているときは、次のようにしてください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「プリンタ」フォルダーのInfoPrint 40のアイコンを右クリックして「プロパティ」を選びます。「プリンターのプロパティ」画面が表示されます。 2. 「スケジュール」タブをクリックします。 3. 「すぐに印刷データをプリンタに送る」の設定を「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」に変えます。 <p>(次のページに続く)</p>

症状	対策
	<p>(前のページから続く)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Windows NT 3.51 で LPR プログラム (Microsoft TCP/IP 印刷など) を使っているときは、次のようにしてください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. プリントマネージャでプリンターを選択します。 2. 「プリンタ」メニューの「プリンタ情報」を選びます。「プリンタ情報」画面が表示されます。 3. 「詳細」ボタンを押します。 4. 「スプール中にジョブを印刷する」のチェックをはずして「OK」ボタンを押します。 • Windows 95 でIBM LPR Remote Printing Client for Windows 95 を使っているときは、次のようにしてください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. Windows 95 のプリンター・ドライバーの設定画面 (プロパティ) を開きます。 2. 「設定」タブの「スプールの設定」ボタンを押します。「プリンタ スプールの設定」画面が表示されます。 3. 「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。 4. スプールデータ形式に「RAW」を指定します。 • IBM パーソナル・コミュニケーションズ (PCOMM) で PDT を使わずに HPT 印刷を行っているときは、スプールデータ形式を「EMF」にします (Windows 95 の場合)。

症状	対策
<ul style="list-style-type: none"> • 印字位置がずれている。 • 用紙の端付近の文字が印字されない。 • アプリケーションの画面と印刷結果が違う。 	<ul style="list-style-type: none"> • お使いのアプリケーションに用紙端の余白（マージン）を指定する機能があるかどうかを確認します。もしも指定できるのなら、正しく指定しているか確認します。アプリケーションからの指定は、プリンター・ドライバーでの指定や、操作パネルでの指定よりも優先されます。プリンター・ドライバーや操作パネルでの指定は無効になります。InfoPrint 40で指定できる余白は4mm以上ですが、6.4mm以上をお勧めします。6.4mm未満だと、用紙端付近の文字が印字されなかったり、画面と印刷結果で改行位置が食い違ったりすることがあります。 • プリンター・ドライバーによっては、余白を指定できるものがあります（例: Windows 95、98用PAGESドライバー）。そのようなドライバーを使っているときは、余白を正しく指定しているか設定画面で確認します。プリンター・ドライバーでの指定は、操作パネルでの指定よりも優先されます。操作パネルの指定は無効になります。次の点にご注意ください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. プリンター・ドライバーの設定画面は、通常はアプリケーションの中からメニューをたどって表示させます。たとえば、次のようにします。 <ul style="list-style-type: none"> - Microsoft Wordや一太郎ではメニューから、ファイル→印刷→プロパティの順序で選択します。 - ロータス ノーツ(Lotus Notes)ではメニューから、ファイル→印刷→プリンター→設定の順序で選択します。 2. プリンター・ドライバーの設定画面は、通常プリンターのアイコンからも表示できます。一般には、アプリケーションから表示させた設定画面の方が優先されます。 3. アプリケーションで指定する余白は、プリンター・ドライバーで指定する余白よりも大きい値か、または同じ値にしてください。アプリケーションで指定する余白の方が小さいと、用紙の端付近の文字が印字されないことがあります。 <p>(次のページに続く)</p>

症状	対策
(続き)	<ul style="list-style-type: none"> • PAGESの場合、印刷ジョブの中で余白を指定していないときは、操作パネルの指定が有効になります。たとえば、次のような場合が該当します。 <ul style="list-style-type: none"> - テキスト・ファイルをcopyコマンドやlprコマンドなどで直接プリンターに送ったとき - アプリケーションが生成した印刷ファイルを、ドライバーを使わずに直接プリンターに送るとき <p>「PAGESメニュー」の「ヒダリ マージン」、「ミギ マージン」、「ウエ マージン」、「シタ マージン」を確認します。『PAGES メニュー』(168 ページ)を参照してください。操作パネルでの指定は、印刷ジョブが余白を指定していないときだけ(つまりアプリケーションやプリンター・ドライバーで余白を指定していないときだけ)有効です。通常の使い方では無視されます。</p> • PAGES以外のときは、操作パネルの「エッジーエッジ」の指定を確認します。「エッジーエッジ」は、データ・ストリームごとに指定します。次のページを参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> - 『PCL メニュー』(152 ページ) - 『PS メニュー』(158 ページ) - 『IPDS メニュー』(160 ページ) - 『COAX セッテイ メニュー』(195 ページ) - 『TWINAX セッテイ メニュー』(198 ページ) • 文書を作成したコンピューターと、印刷するコンピューターが違うときは、解像度の違いに注意してください。アプリケーション上で指定できる解像度の種類は、その時点で選択しているプリンターの種類によって変わります。InfoPrint 40以外のプリンターを選択している状態で作成した文書は、InfoPrint 40にない解像度で作成した可能性があります。このような文書をInfoPrint 40に印刷すると、1ページの行数や1行の文字数が変わり、文書のレイアウトが変わることがあります。たとえば、以前のIBMプリンターには、解像度が360dpiや240dpiのものがありました。InfoPrint 40の解像度は600dpiまたは 300dpiです(プリンター・ドライバーによって違いがあります)。したがって、以前のIBMプリンター用に作成した文書をInfoPrint 40に印刷すると、文書のレイアウトが変わることがあります。

症状	対策
<p>フォントが間違っている。 指定したフォントで印刷されな い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • アプリケーション上で正しくフォントを指定しているか確認してください。次の点にご注意ください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. フォントには、TrueTypeフォントやプリンター・フォントなどの種類があります。TrueTypeフォント（MS明朝やMSゴシックなど）を指定すると、コンピューター上で字形がイメージ・データに変換されてから、プリンターに送られます。プリンター・フォント（明朝、ゴシックなど）を指定すると、プリンターにはフォント名と文字コードが送られ、プリンター上で字形データに変換されます。 2. アプリケーション上で指定できるTrueTypeフォントの種類は、コンピューターにインストールされているフォントの種類によって変わります。文書を作成したときのコンピューターと、印刷するコンピューターが違っているとします。このとき、作成時のコンピューターで利用できたフォントが、印刷用コンピューターにインストールされていないことも考えられます。このようなときは、フォントが代替され、文書作成時とは違うフォントが使われます。 3. アプリケーション上で指定できるプリンター・フォントの種類は、その時点で選択しているプリンターの種類によって変わります。InfoPrint 40以外のプリンターを選択している状態で作成した文書は、InfoPrint 40にないプリンター・フォントを使っている可能性があります。このような文書をInfoPrint 40に印刷すると、フォントが代替され、文書作成時とは違うフォントが使われま す。 <p>(次のページに続く)</p>

症状	対策
(続き)	<ul style="list-style-type: none"> • プリンター・ドライバー上で正しくフォントを指定しているか確認してください。次の点にご注意ください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 一部のプリンター・ドライバー（PostScriptドライバーや、Windows NT 4.0用PAGESドライバーなど）では、フォント代替の機能が使えます。フォント代替とは、アプリケーション上で使っている特定のTrueTypeフォントを印刷時にプリンター・フォントに置き換えることです。どのTrueTypeフォントをどのプリンター・フォントに置き換えるかは、フォント代替表で指定します。フォント代替表は、ドライバーの設定画面から表示できます。フォント代替の指定に誤りがないか確認してください。 2. Windows NT 4.0のPostScriptドライバーやPAGESドライバーでフォント代替を利用するとき、設定画面が2つあることにご注意ください。「プリンターのプロパティ」（プリンター・フォルダーからプロパティを選んで表示させます）と「ドキュメントのプロパティ」（通常アプリケーションの印刷画面からプロパティを選んで表示させます）の両方で正しく指定しているか確認してください。 3. Windows NT 4.0用PAGESドライバーでフォント代替機能を利用するためには、Service Pack 4 (SP4)以上が必要です。フォント代替機能を使わなければ、Service Pack 3 (SP3) 以上で動作します。 4. PCLのプリンター・ドライバーでは、ソフト・フォントを指定できます。指定内容に誤りがないか確認してください。 5. Windows NTでPCLドライバーやPAGESドライバーを使っているときは「テキストをグラフィックスとして印刷」の指定を確認してください。「テキストをグラフィックスとして印刷」が「オン」になっていると、プリンター・フォントを指定してもTrueTypeフォントで印刷されます。「テキストをグラフィックスとして印刷」は、次の画面で指定します。 <ul style="list-style-type: none"> - Windows NT 4.0では「ドキュメントのプロパティ」画面で指定します。 - Windows NT 3.51では「文書属性」画面で指定します。 6. Windows 95、98でPAGESドライバーを使っていて、プリンター・フォントの「明朝7pt」「明朝10pt」「ゴシック7pt」「ゴシック10pt」を指定しているときは、「TrueTypeフォントのプリンターへのダウンロード」を「しない」にしてください。 <p>(次のページに続く)</p>

症状	対策
(続き)	<ul style="list-style-type: none"> • InfoPrint 40で使えるプリンター・フォントは、データ・ストリームの種類によって変わります。フォントのリストを印刷すると、データ・ストリームごとに使えるフォントの種類がわかります。次のページを参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> – 『PCL5e フォントのリストを印刷する』(47 ページ) – 『PostScript フォントのリストを印刷する』(47 ページ) – 『IPDS 常駐フォントのリストを印刷する』(48 ページ) – 『PAGES フォントのリストを印刷する』(48 ページ) – 『ESC/P フォントのリストを印刷する』(48 ページ) • IPDSのときは、フォント置換の設定を確認してください。「IPDS メニュー」の「フォントチカン」の指定を調べます。『IPDS メニュー』(160 ページ)を参照してください。
<p>PostScriptで正しく印刷できない。「%%」などのごみが印字される。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. PostScript用のプリンター・ドライバーが正しくインストールされていることを確かめます。 2. プリンター・ドライバーの設定画面で、出力ポート（出力先）の指定が正しいか（たとえばイーサネット接続なのにパラレル・ポートを指定していないか）を確認します。 3. プリンターに十分なメモリーがあるか確認します。『必要なメモリー容量』(13 ページ)を参照してください。 4. 操作パネルの「パーソナリティ」の指定を確認します。プリンターの接続方法（パラレル接続かイーサネット接続かなど）によって、確認するメニュー項目の位置が違います。次のページを参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 『TOKEN RING メニュー』(176 ページ) • 『ETHERNET メニュー』(181 ページ) • 『パラレル・メニュー』(150 ページ) <p>「パーソナリティ」が「PCL」、「IPDS」、「PAGES」、「ESC/P」のどれかになっているときは、「オート」か「PS」に変えてください。「オート」でうまくいかないときは「PS」にしてみてください。これらの指定の意味は、上の参照ページを見てください。</p> 5. 操作パネルの「PSメニュー」で「エラーノインサツ」を「オン」にしてください。意味は『PS メニュー』(158 ページ)を参照してください。

症状	対策
<p>IPDSで正しく印刷できない。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. IBM IPDSオプションを導入していることを確かめます。プリンター構成ページを印刷してください（40ページの『プリンター構成ページを印刷する』を参照）。プリンターが IBM IPDSオプションを認識していれば、次のようになります。 <ul style="list-style-type: none"> • プリンター構成ページに「IPDS MENU」という項目が印刷されます。 • プリンター構成ページの「INSTALLED OPTIONS」の項目に「IPDS」と印刷されます。 <p>プリンターがIBM IPDSオプションを認識していないときは、IPDSオプションのSIMMを取り付け直します。それでも認識しないときは、IPDSオプションのSIMMが壊れています。SIMMを交換してください。</p> 2. イーサネットまたはトークンリング接続のときは、TCP/IPの設定を確認します。イーサネット接続やトークンリング接続経路でIPDSデータを印刷するためには、TCP/IPの設定が必要です。次のマニュアルを参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> • イーサネットおよびトークンリング構成の手引き 3. イーサネットまたはトークンリング接続のときは、操作パネルの「パーソナリティ」の指定を確認します。次のページを参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 『TOKEN RING メニュー』（176 ページ） • 『ETHERNET メニュー』（181 ページ） <p>「パーソナリティ」が「PCL」、「PS」、「PAGES」、「ESC/P」のどれかになっているときは、「オート」か「IPDS」に変えてください。「オート」でうまくいかないときは「IPDS」にしてみてください。これらの指定の意味は、上の参照ページを見てください。</p> 4. プリンターが搭載しているメモリーの容量を確認してください。『必要なメモリー容量』（13 ページ）を参照してください。

症状	対策
<p>PAGESまたはESC/Pで正しく印刷できない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • PAGES & ESC/P オプションを導入していることを確かめます。プリンター構成ページを印刷してください（40ページの『プリンター構成ページを印刷する』を参照）。プリンターが PAGES & ESC/P オプションを認識していれば、次のようになります。 <ul style="list-style-type: none"> - プリンター構成ページに「PAGES MENU」という項目が印刷されます。 - プリンター構成ページの「PRINTER DETAILS」の「CODE LEVELS」に「PAGES」の行が印刷されます。 <p>プリンターが PAGES & ESC/P オプションを認識していないときは、PAGES & ESC/P オプションの SIMM を取り付け直します。それでも認識しないときは、PAGES & ESC/P オプションの SIMM が壊れています。SIMM を交換してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プリンター・ドライバーの設定画面で、出力ポート（出力先）の指定が正しいか（たとえばイーサネット接続なのにパラレル・ポートを指定していないか）を確認します。 • プリンターに十分なメモリーがあるか確認します。『必要なメモリー容量』（13 ページ）を参照してください。 • 操作パネルの「パーソナリティ」の指定を確認します。プリンターの接続方法（パラレル接続かイーサネット接続かなど）によって、確認するメニュー項目の位置が違います。次のページを参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> 『TOKEN RING メニュー』（176 ページ） 『ETHERNET メニュー』（181 ページ） 『パラレル・メニュー』（150 ページ） <ul style="list-style-type: none"> - PAGES で正しく印刷できないとき、「パーソナリティ」が「PCL」、「PS」、「IPDS」、「ESC/P」のどれかになっていたら「オート」か「PAGES」に変えてください。「オート」でうまくいかないときは「PAGES」にしてみてください。 - ESC/P で正しく印刷できないとき、「パーソナリティ」が「PCL」、「PS」、「IPDS」、「PAGES」のどれかになっていたら「オート」か「ESC/P」に変えてください。「オート」でうまくいかないときは「ESC/P」にしてみてください。 <p>(次のページに続く)</p>

症状	対策
	<p>(前のページから続く)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 補助トレイから給紙していて問題が起きるときは、操作パネルの「ヨウシメニュー」の「ホジョサイズ」に用紙サイズを正しく指定しているか確認してください。プリンター・ドライバーで用紙サイズを指定しているときでも「ホジョサイズ」には正しい用紙サイズを指定する必要があります。『補助トレイの用紙サイズを変える』（95 ページ）を参照してください。 • 封筒トレイから給紙していて問題が起きるときは、操作パネルの「ヨウシメニュー」の「フウトウサイズ」に封筒サイズを正しく指定しているか確認してください。プリンター・ドライバーで封筒サイズを指定しているときでも「フウトウサイズ」には正しい封筒サイズを指定する必要があります。『封筒トレイの封筒サイズを変える』（96 ページ）を参照してください。 • 操作パネルに次のどちらかのメッセージが表示され、プリンターが止まってしまったときは、この項目をお読みください。 <ul style="list-style-type: none"> - 「PAGESショリヲチュウダン インサツデータ・エラー:FID」 - 「PAGES STOPPED PRT DATA ERR:FID」 <p>これは、TrueTypeフォントキャッシュエラーが起きたことを示しています。印刷データの一部が失われている可能性があります。電源を入れ直してから、もう一度同じ印刷を行ってください。再現するようでしたら、貴社担当の営業担当員か、IBMコール・センターにご連絡ください。IBMコール・センターの電話番号は『困ったときには』（12 ページ）を参照してください。</p> <p>(次のページに続く)</p>

症状	対策
	<p>(前のページから続く)</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンピューターの画面では新字体なのに、印刷すると旧字体になるとき (またはその逆が起きるとき) は、次のどれかを実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> - 操作パネルの「PAGES メニュー」または「ESC/P メニュー」の「カンジナラビ」の選択を変えてください。たとえば現在「JIS78」を選んでいるときは「JIS90」に変えてください。 - アプリケーション上で指定しているフォントを、プリンター・フォント (明朝、ゴシック) から TrueType フォント (MS 明朝、MS ゴシックなど) に変えてください。 - プリンター・ドライバーの設定画面 (プロパティ) でフォント代替を指定しているときは、指定を外し、フォント代替を利用しないようにしてください。
<p>パラレル接続で正しく印刷できない。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. プリンター・ドライバーが正しくインストールされていることを確認します。 2. プリンター・ドライバーの設定画面で、出力ポート (出力先) にパラレル・ポート (LPT1など) を指定していることを確認します。 3. 接続に使っているパラレル・ケーブルを点検します。次の条件を満たしている必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> • IBM 部品番号 81X7875、63H2804、またはこれらの同等品であること • 長さが3メートル以下であること
<p>紙詰まりを取り除いたら、ページが欠落した (印刷されないページがあった)。</p>	<p>プリンター・ドライバーに「ジャム回復」の設定項目があるときは「ジャム回復を行う」設定にします。ドライバーに「ジャム回復」の項目がないときは、操作パネルの「コウセイメニュー」で「ジャムカイフク=オン」にします (プリンター・ドライバーの指定の方が、操作パネルの指定よりも優先されます)。『コウセイ メニュー』(146 ページ) を参照してください。ジャム回復を使う設定にすると、印刷速度が遅くなることがあります。</p>
<p>事前印刷用紙に印刷すると、印字データがずれる。事前印刷した線やミシン目にかかってしまう。</p>	<p>事前印刷用紙に印刷するときは、印字位置の周りに 5 mm 以上の余裕を持たせてください。あらかじめ用紙に引いてある線や、ミシン目、紙の切れ込みなどは、印字位置から 5 mm 以上離れるようにしてください。</p>

付録B. 印字品質が良くないとき

印字品質に問題があるときは、以下の手順に従ってください。後述の印字サンプルを参照し、対策を実行してください。印字品質の問題とは、印字が薄い、筋が入る、汚れが出る、かすれる、白く抜ける、白紙が出る、といった現象を指します。

重要!

アプリケーションやプリンター・ドライバーには、印字品質を指定できるものがあります。アプリケーションやプリンター・ドライバーで印字品質を指定すると、通常操作パネルでの指定は無効になります。以下の手順で、操作パネルの設定を変更しているところでは、アプリケーションやプリンター・ドライバーの設定も必ず変更してください。

1. デモ用ページを印刷します。デモ用ページでも同じ印字品質の問題が起きるか確認してください。デモ用ページで問題が起きないときは、印刷データに問題がある可能性があります。デモ用ページを印刷するには、次のようにします。
 - a. [オンライン] を押して、プリンターを「オフライン」にします。
 - b. [メニュー] を押して、「テスト・メニュー」を表示させます。
 - c. [項目] を数回押して、「デモ ページ」を表示させます。
 - d. [実行] を押します。
 - e. [オンライン] を押して、プリンターを「インサツカノウ」にします。
2. 印刷が薄過ぎるときは、「コウセイメニュー」の「ヒンシツ」を「エコノ」に設定していないか確かめます。また、「トナー・ノウド」の設定値を増やしてみてください。『コウセイ メニュー』(146 ページ) を参照してください。
3. 印刷が濃いときは、「トナー・ノウド」の設定値を減らしてみてください。また、「ヒンシツ」を「セイサイ」にしてみてください。
4. イメージ・データの品質が悪いときは、「ヒンシツ」を「セイサイ」にします。また、「トナー・ノウド」の設定値を減らしてみてください。
5. 小さな文字が読みにくいときは、「ヒンシツ」を「セイサイ」にします。また、「トナー・ノウド」の設定値を減らしてみてください。
6. 用紙の状態を確かめます。

- 包装紙から用紙を取り出してから日数がたっていませんか？
- 吸湿していませんか？
- 用紙の仕様に従っていますか？

詳しくは、『用紙の種類』(52 ページ) を参照してください。

7. トナー・カートリッジを交換します。印刷が薄いときは、トナー・カートリッジの交換が必要な場合があります。トナー・カートリッジの交換方法については、『トナー・カートリッジを交換する』(207 ページ) を参照してください。

重要: トナー・カートリッジを振ったり傾けたりしないでください。トナーがこぼれます。

8. 汚れや筋が印字されるときは、テスト用のページを数枚印刷して、汚れを落としてください。
9. 「MRT アッシュクチュウ」というメッセージが表示されるときは、「ページホゴ」を「オン」に変えてみてください。「ページホゴ」は、データ・ストリームごとに指定します。次のページを参照してください。

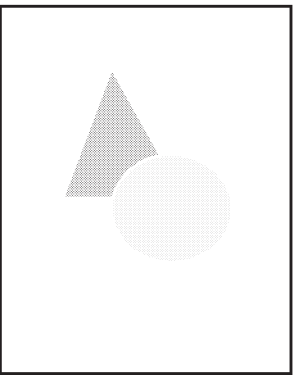
- 『PCL メニュー』(152 ページ)
- 『PS メニュー』(158 ページ)
- 『IPDS メニュー』(160 ページ)
- 『PAGES メニュー』(168 ページ)
- 『ESC/P メニュー』(173 ページ)

メモリーの増設が必要になることがあります。『必要なメモリー容量』(13 ページ) を参照してください。

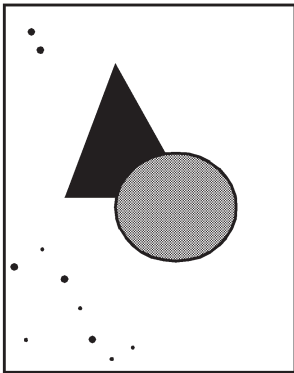
10. 「エッジ - エッジ」を「オフ」にします。「エッジ - エッジ」は、次のメニューで設定できます。
 - 『PCL メニュー』(152 ページ)
 - 『PS メニュー』(158 ページ)
 - 『IPDS メニュー』(160 ページ)
 - 『COAX セッテイ メニュー』(195 ページ)
 - 『TWINAX セッテイ メニュー』(198 ページ)

11. フューザーの交換が必要なことがあります。『ユーザー・メンテナンス・キットを交換する』(219 ページ) を参照してください。

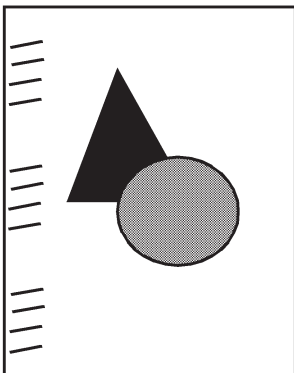
印刷が薄過ぎる

考えられる原因	対策	印刷サンプル
印刷品質が「エコノ」になっている。	<p>トナー節約モードになっていないことを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プリンター・ドライバーの設定を確かめてください。 • 操作パネルの設定を確かめてください。『コウセイ メニュー』(146 ページ) を参照してください。 	
濃度が薄過ぎる。	濃度をより高い値に変えてみてください。『コウセイ メニュー』(146 ページ) を参照してください。	
用紙が吸湿している。	新しい用紙を包装紙から取り出してセットします。	
トナー・カートリッジのトナーが少なくなっている。	トナー・カートリッジを交換します。『トナー・カートリッジを交換する』(207 ページ) を参照してください。	
トナー・カートリッジが損傷しているか、寿命の23,000 ページを超えて使用している。	トナー・カートリッジを交換します。『トナー・カートリッジを交換する』(207 ページ) を参照してください。	

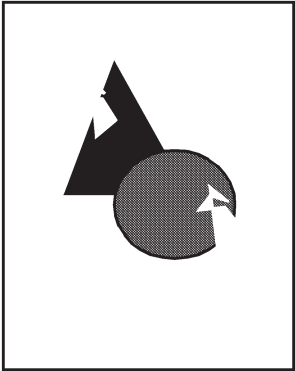
トナーのスポットができる

考えられる原因	対策	印刷サンプル
用紙が仕様に合っていない。	推奨紙を使います。『用紙の種類』(52 ページ) を参照してください。	
トナー・カートリッジが損傷している。	トナー・カートリッジを交換します。『トナー・カートリッジを交換する』(207 ページ) を参照してください。	

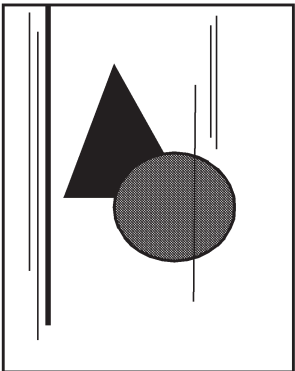
繰り返し同じマークが出る

考えられる原因	対策	印刷サンプル
プリンターの内部 (用紙が通る経路) が汚れている。	白紙ページを数枚印刷して、汚れを落とします。	
トナー・カートリッジが損傷している。	トナー・カートリッジを交換します。『トナー・カートリッジを交換する』(207 ページ) を参照してください。	

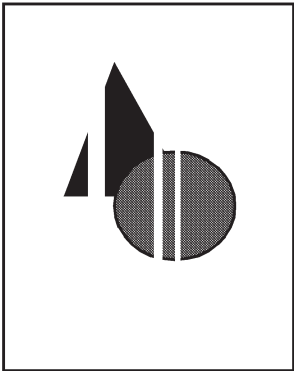
印刷の抜けや薄い部分がある

考えられる原因	対策	印刷サンプル
用紙が吸湿している。	新しい用紙を包装紙から取り出してセットします。	
用紙が仕様に合っていない。	推奨紙を使います。『用紙の種類』(52 ページ) を参照してください。	
トナー・カートリッジのシールが貼ったままになっている。	トナー・カートリッジのシールをはがします。	

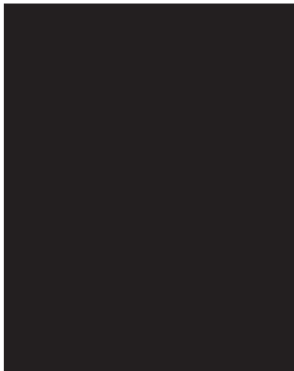
縦線が出る

考えられる原因	対策	印刷サンプル
トナー・カートリッジが損傷している。	トナー・カートリッジを交換します。『トナー・カートリッジを交換する』(207 ページ) を参照してください。	

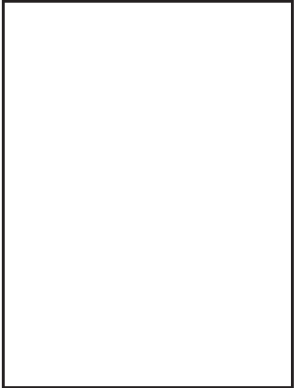
縦方向に抜けや印刷の薄い部分がある

考えられる原因	対策	印刷サンプル
トナー・カートリッジを正しく取り付けしていない。	トナー・カートリッジを取り付け直します。	
トナー・カートリッジが損傷している。	トナー・カートリッジを交換します。『トナー・カートリッジを交換する』(207 ページ) を参照してください。	

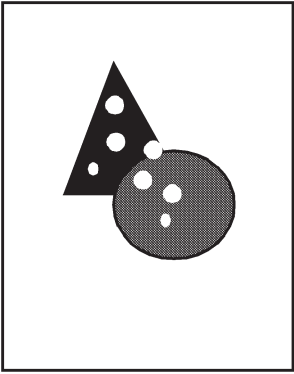
印刷全体が真っ黒になっている

考えられる原因	対策	印刷サンプル
トナー・カートリッジが損傷している。	トナー・カートリッジを交換します。『トナー・カートリッジを交換する』(207 ページ) を参照してください。	
プリンターの電源ユニットが故障している。	サービス技術員に連絡してください。	

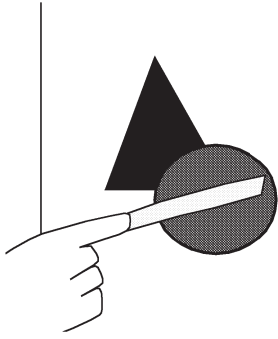
印刷全体がブランクになっている

考えられる原因	対策	印刷サンプル
トナー・カートリッジのシールが貼ったままになっている。	トナー・カートリッジのシールをはがします。	
一度に 2 枚以上重ねて送られた (重送)。	用紙をさばいてほぐします。	
トナー・カートリッジのトナーが少なくなっている。	トナー・カートリッジを交換します。『トナー・カートリッジを交換する』(207 ページ) を参照してください。	
トナー・カートリッジが損傷している。	トナー・カートリッジを交換します。『トナー・カートリッジを交換する』(207 ページ) を参照してください。	
プリンターの電源ユニットが故障している。	サービス技術員に連絡してください。	

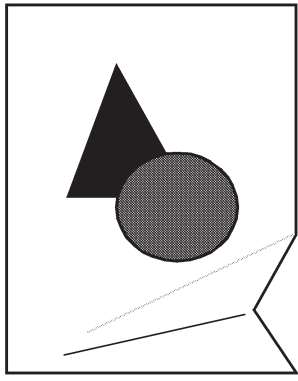
黒いイメージ領域内に白いスポットができる

考えられる原因	対策	印刷サンプル
用紙が仕様に合っていない。	推奨紙を使います。『用紙の種類』(52 ページ) を参照してください。	
トナー・カートリッジが損傷している。	トナー・カートリッジを交換します。『トナー・カートリッジを交換する』(207 ページ) を参照してください。	

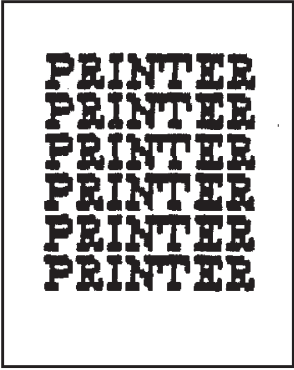
印刷イメージがにじんでいるか染みになっている

考えられる原因	対策	印刷サンプル
用紙が吸湿している。	新しい用紙を包装紙から取り出してセットします。	
用紙が仕様に合っていない。	推奨紙を使います。『用紙の種類』(52 ページ) を参照してください。	
フューザーが正しく機能していない。	ユーザー・メンテナンス・キットの交換を検討します。『ユーザー・メンテナンス・キットを交換する』(219 ページ) を参照してください。	

用紙が損傷している

考えられる原因	対策	印刷サンプル
用紙が仕様に合っていない。	推奨紙を使います。『用紙の種類』(52 ページ) を参照してください。	
用紙が吸湿している。	新しい用紙を包装紙から取り出してセットします。	
損傷した用紙を給紙トレイにセットした。	新しい用紙を包装紙から取り出してセットします。	

印刷イメージがぼやけている

考えられる原因	対策	印刷サンプル
用紙が仕様に合っていない。	推奨紙を使います。『用紙の種類』(52 ページ) を参照してください。	 印刷サンプルとして、6行の「PRINTER」が印刷された図が示されています。文字は非常にぼやけており、隣接する文字と重なっているように見えます。これは、用紙の仕様や湿度の問題による印刷品質の低下を示しています。
用紙が吸湿している。	新しい用紙を包装紙から取り出してセットします。	

